

在学生並びにご家族の皆様へ

2020年度前期は、新型コロナウイルス感染の蔓延のため、ほとんどの授業を遠隔で行い、みなさまに様々なご負担をかけながらも無事にやり遂げることができました。その間、本学独自の感染症対策行動指針(BCP)も決定されました。後期からは、厳しい感染症対策を講じながらの対面授業に切り替え、キャンパス内で授業を行い、サークル活動やボランティア活動も徐々に再開され、学内で元気みなさんの勉強の様子が見られ、大学も活気づいておりました。

しかしながら11月に入り、学生5名の集団感染が発生し、急遽、遠隔授業に移行することになりました。感染者は全員が軽症で病院入院などは必要のない状況であったことは幸いでした。感染者発生直後に学内でPCR検査のための検体採取を教職員が手分けして実施し、感染者以外の被検査者は全て陰性と判明して現在に至っています。

学生の方々やご家族は、当然、対面授業が優れているとお考えでしょう。私も、学生さんたちが学内でクラスメート、先輩の行動や学習態度を見ることが人生にとって極めて重要であることを感じています。さらにサークル活動やボランティア活動などで、大学の外そして社会と向き合うことも教育的に大きな効果があると信じています。しかしながら、with coronaの時代ではこのように容易に制限が起こるとというのが現実です。

西南女学院が皆様に寄り添う姿勢は変わりありません。政府の対策分科会では、感染拡大が予想されることから緊急提言もされました。みなさんには、報道に注意していただき、大学に通われていた時と同じく、検温と体調のチェックを励行してください。社会的距離を保つこと、会食などを行わず、3密を避けること、体調不良の時は医療機関に相談することなどに注意してください。COCOAのインストールも役立つと思います。

これからの学生さんの学業の発展、感染の防止にはご本人とご家族のご協力が必須です。西南女学院はこの困難な時期にも皆様のご相談にのり応援し続けています。皆様のご健康を心より祈っております。

学長 工藤 二郎